

— 快適な環境をトータルプロデュース —

株式会社 エスケイエンジニアリング



所在地：〒818-0071 福岡県筑紫野市二日市中央1-1-50
TEL : 092-925-4880
FAX : 092-925-4870
URL : http://www.skeng.co.jp/
従業員：89名
設立：1979年
代表者：代表取締役 光森徳雄



本社



GPSでの深浅測量状況



レーザースキャナー計測状況



発注者支援業務・現場状況



発注者支援業務・現地施工管理状況



本社前に設置された「子育て応援自販機」



エコキャップ運動



路線縦断測量状況



社長の指導で田植え



唐箕を使ってお米選別



GPSでの基準点測量状況



留学生との稲刈り



屋上緑化

経営理念

SLOW AND STEADY 『スロー、アンド、ステディ』 ～一歩、一歩、確実に～



世界中で怠惰、鈍感、低能などとさげすまれているナマケモノ。しかし、ナマケモノが「ゆっくり」なのは、無駄なエネルギーを消費しないための知恵。彼らは生存競争の激しい自然界の中で、生命の論理の観点からあらゆる無理と無駄を省く事で生き延びてきました。

見事に森と共生する”省エネ動物ナマケモノ”に習い、社員全員が『SLOW AND STEADY』を合言葉に、たとえゆっくりであっても「一歩、一歩、確実に」進んでいきます。そして、「人と技術を活かし、地域に密着して」、安全・安心な暮らしができる社会の実現に貢献したいと技術力の向上やCSR活動に取り組んでいます。

おかげさまで30年

当社は昭和54年に有限会社エスケイエンジニアリングとして設立され、創業以来、国土交通省、地元の官公庁、民間企業から信頼をいただき社業を発展させて参りました。昭和61年に株式会社に組織変更

し、当初の施工管理(発注者支援業務)だけでなく、現在では測量、建設コンサルタント、補償コンサルタント業務も行い、総合土木コンサルタントとして、九州の社会基盤整備の一端を担っています。

当社は福岡県の中央部、筑紫野市にあり、宮崎市、鹿児島市、熊本市、長崎県佐世保市に支店を置いています。

社会貢献活動

当社の社会貢献活動の主なものに環境・留学生交流活動があります。毎年恒例の景観保全を兼ねた「米づくり」では、筑紫野市に隣接する太宰府市にて休耕田を借り、春には人手による田植え、秋には鎌で稲を刈り、足踏み脱穀機や唐箕^{とうみ}を使って収穫します。その際、海外からの留学生を招待し、半世紀も前の日本の農作業を体験していただき、かつ社員や参加された地域の方との交流を行っています。休耕田が太宰府政庁跡(都府楼跡)近くである為、周辺を散策される方にとっては春・秋の風物詩にもなっています。

そのほかアルミ缶回収費による車いすの寄贈や母親社員の一言から始まったエコキャップ運動、福岡ア

ジア留学生里親奨学金事業への参加、温暖化防止や環境保護という視点を考慮した屋上緑化及び壁面緑化など、地域に密着した活動を行っています。

また、「子育て応援」もCSR活動のひとつとして位置付けており、福岡南社会保険事務所管轄内で初の男性育児休暇取得者が誕生しました。

技術紹介

当社は、施工管理(発注者支援業務)に早くから取り組んできた会社の一つです。支援業務においては官公庁と施工会社の橋渡しとして個人の資質が重要になることから、技術教育や倫理教育に力をいれています。また、さらなるレスポンスの向上を目指して「三方良しの公共事業改革」で紹介されたCCPM(Critical Chain Project Management:クリティカルチェーン・プロジェクトマネジメント)にも取り組んでいます。

測量業務は国土地理院を始め、国土交通省、地方公共団体等の基本測量、地形測量、応用測量を主として行っています。平成20年には日本測量協会より基準点部門として九州で唯一の品質管理優秀賞(基準点)を受賞しました。また、新技術への取り組みとしてトータルステーションを使用した出来形管理の効

率化、GISとデータベースを組み合わせた施設管理及び3Dレーザースキャナーによる災害測量、文化財測量等に取り組んでいます。

設計業務は「安全・安心な暮らしができる社会の実現に貢献」をモットーに地域や顧客に密着した取り組みを行っています。平成21年の建設コンサルタント九州支部主催の夢アイデアコンテストにおいて、当社社員の応募提案「理想の公園で、こどもも大人もリフレッシュ!!」が優秀賞を受賞しました。今後もこうした視点から地域に貢献できる取り組みを行っていきたく考えています。

これからの私たち

私たちの企業活動の基盤となっているものは経営理念『SLOW AND STEADY』です。これからは、グローバルな活躍を視野に入れ、たとえゆっくりであっても「一歩、一歩、確実に」進み、「人と技術を活かし、地域に密着して」、安全・安心な暮らしができる社会の実現に向けて歩み続けます。

(文：開発部係長 中川夏希)